



ITmedia Inc.

平成23年3月期 第2四半期 決算説明資料

平成 22 年 10 月 27 日

アイティメディア株式会社

証券コード: 2148 東証マザーズ

本資料に記載された業績予想ならびに将来予測は、資料作成時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、不確実な要素を含んでいます。実際の業績は、様々な要因及び業況の変化により、記載されている予想とは大きく異なる可能性があることをご了承ください。

当社の業績に影響を与えうる事項は「平成22年3月期 決算短信」の「事業等のリスク」に記載されておりますので、ご参照ください。ただし、業績に影響を与えうる要素は「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご留意ください。リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。

また、本資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、その内容の正確性及び確実性を保証するものではないことをあらかじめご了承下さい。

この資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

本資料及びデータの無断転用はご遠慮ください。

なお、本資料に記載された財務数値及び業績予想は、原則として連結ベースで記載しております。



ITmedia Inc.

平成23年3月期 第2四半期 業績概要

平成 22 年 10 月 27 日

アイティメディア株式会社

証券コード: 2148 東証マザーズ

○連結売上は、前年同期比 3.3%増加
 広告主数は、前年同期比10.4%増加

○連結営業利益△56百万円
 前年同期から△27百万円の損失拡大

○主な要因

売上面

- ・費用対効果の高い商品の売上は堅調
 - ターゲティング型商品は、前年同期比26%増
 - ディスプレイ型商品は、前年同期比20%減
- ・IT分野売上が前年同期を下回る
 - 当社グループの主要顧客であるIT関連企業はマーケティング活動に依然として慎重

四半期実績 前年同期比

売上高	636百万円	103.3%
営業利益	△56百万円	△27百万円
経常利益	△54百万円	△28百万円
当期純利益	△97百万円	△81百万円

利益面

- ・外注費の増加により、総コスト増加
 - 高利益率であるディスプレイ型商品の売上構成比が低下したため、利益率が低下
- ・連結子会社zoomの赤字改善が継続
 - モデル転換によるインフラコストの削減
 - (株)オウケイウェイヴとの資本・業務提携

○IT分野

- ・ 売上は前年同期から3.8%減、営業利益は確保
- ・ ターゲティング型商品売上は前年同期比27.5%増
- ・ ディスプレイ型、タイアップ型商品が前年同期比減

○エレクトロニクス分野

- ・ 売上は、前年同期比で約2.8倍
- ・ 「@IT MONOist」と「EE Times Japan」の相乗効果

○コンシューマー分野 (アイティメディア)

- ・ 売上は、前年同期比3.8%増。新商品が業績貢献
- ・ ディスプレイ型商品売上が減少し、前年同期比で減益

○コンシューマー分野 (zoome)

- ・ 前年同期比 増収・赤字幅の縮小
- ・ 動画広告が前四半期に続き好調
- ・ バーチャルイベントの映像制作売上も貢献

○人材関連分野

- ・ 前年同期比 減収・赤字幅の縮小
- ・ ローコスト運営により、営業損失は改善傾向

平成23年3月期 第2四半期に行った主な施策

- 7/ 1 エンジニアリング分野(3メディア)の合計月間PVが200万PVを突破
- 7/27 クラウドコンピューティング、SaaS製品の選定・導入支援専門メディア「クラウド&SaaS」を開設
- 7/30 子会社zoomeならびに株式会社オウケイウェイヴとの業務提携契約締結を発表
- 8/19 株式分割、単元株制度の採用及び定款の一部変更についての決議を発表
- 9/ 1 Q&Aコミュニティ「質問! ITmedia」を開設
- 9/13 日本最大級のバーチャルイベント「ITmedia Virtual EXPO 2010」開催
- 9/21 「ITmedia for iPhone」と「ATOK Pad for iPhone」がアプリ連携
- 9/28 注目のライブ動画を紹介する「ライブガイド」を開設
- 9/29 「Business Media 誠」が読める「iPhone」用アプリのダウンロード数が10万件を突破



平成23年3月期 第2四半期業績（連結）

（百万円）

	当四半期(7～9月)		前年同四半期		増減率
	金額	売上比	金額	売上比	
売上高	636	100.0%	616	100.0%	+3.3%
売上原価	286	45.0%	270	43.8%	+6.1%
売上総利益	349	55.0%	345	56.2%	+1.1%
営業利益	△56	—	△29	—	—
経常利益	△54	—	△26	—	—
当期純利益	△97 ※	—	△15	—	—

※経常利益から当期純損失に至る主な要因は下記のとおりです。
法人税等調整額 △43百万円

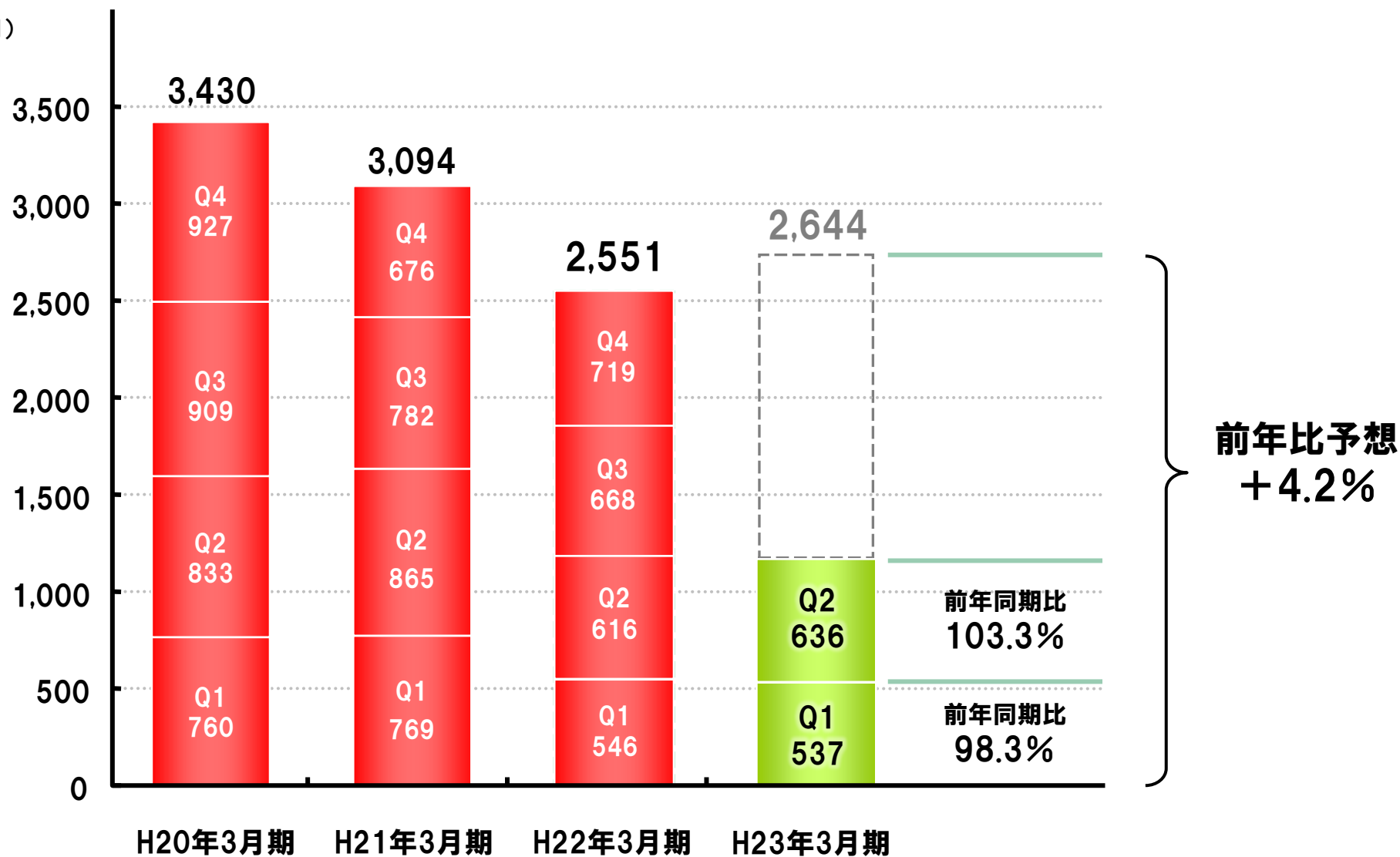
平成23年3月期 第2四半期業績（個別）

（百万円）

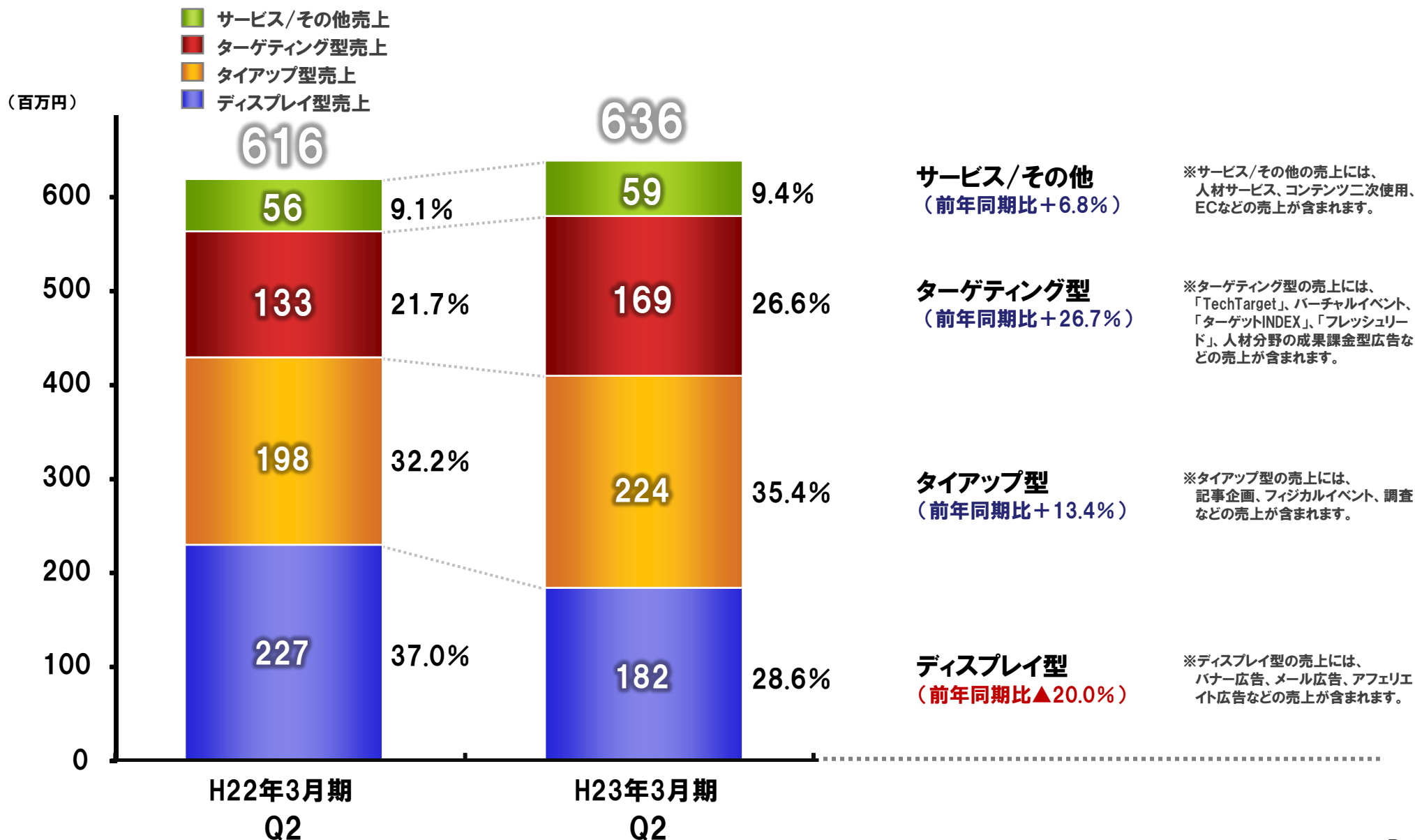
	当四半期(7～9月)		前年同四半期		増減率
	金額	売上比	金額	売上比	
売上高	628	100.0%	608	100.0%	+3.3%
売上原価	277	44.1%	246	40.5%	+12.5%
売上総利益	351	55.9%	362	59.5%	△3.0%
営業利益	△40	—	△0	—	—
経常利益	△38	—	3	0.5%	—
当期純利益	△82	—	13	2.2%	—

売上高の推移(連結)

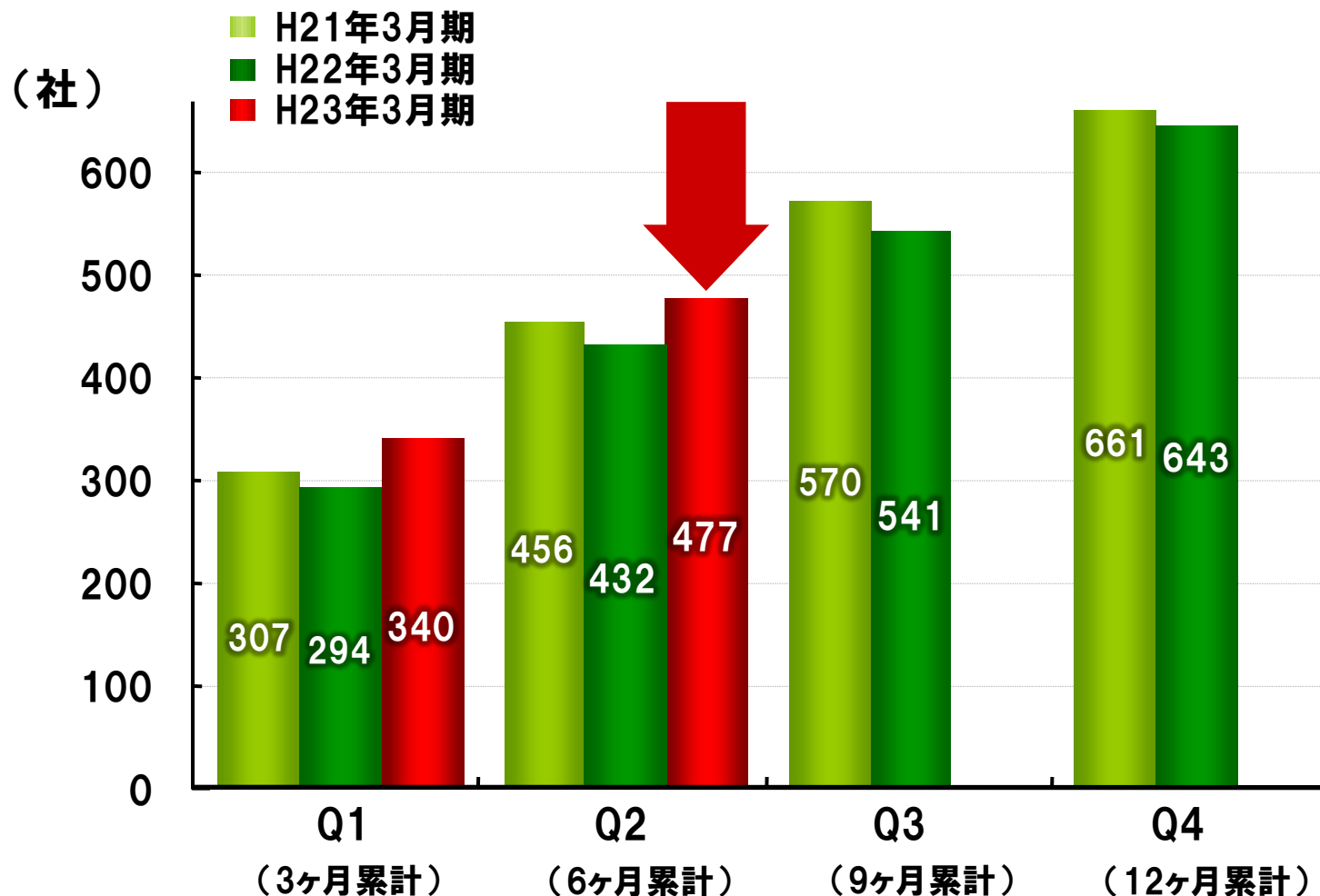
(百万円)



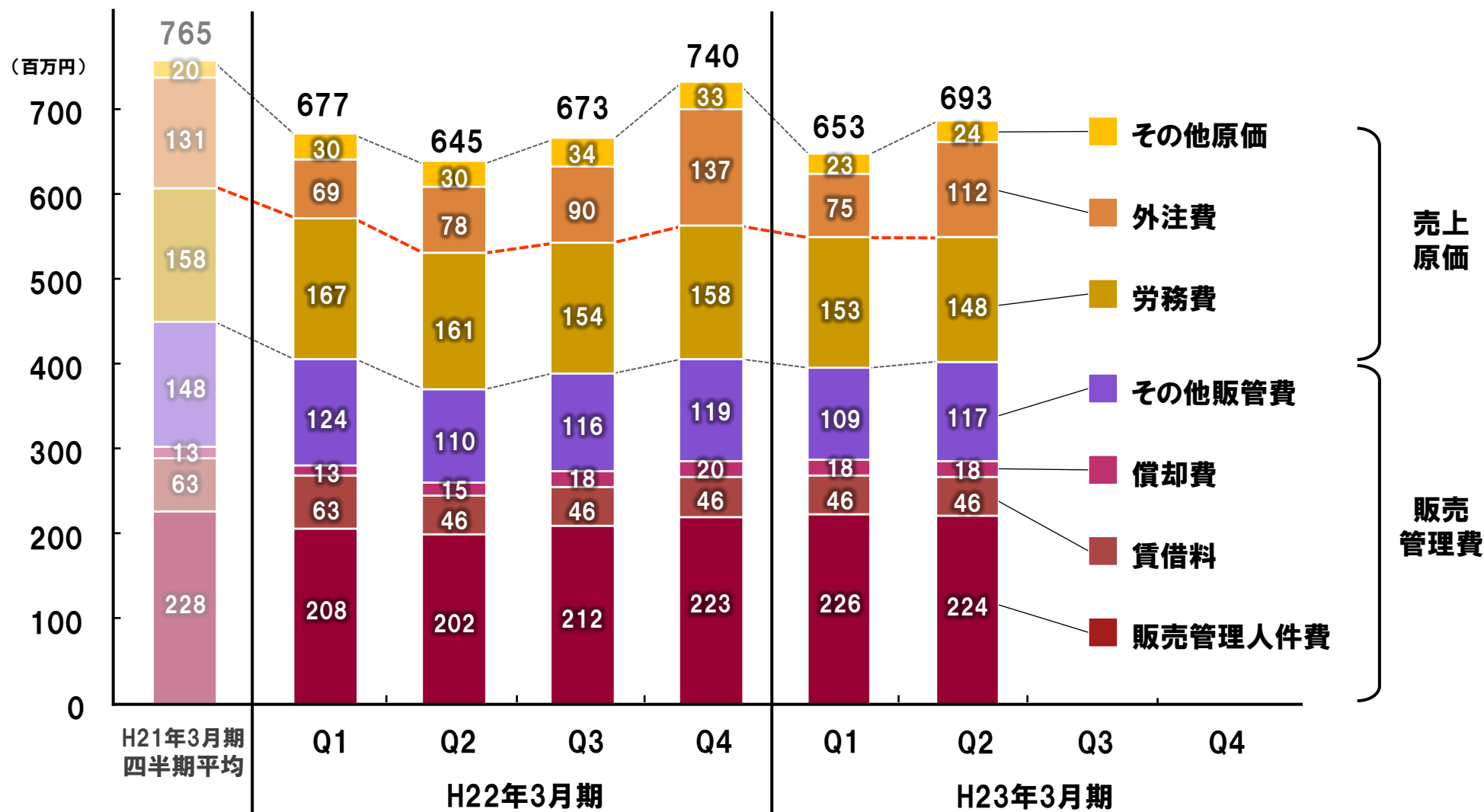
商品タイプ別・売上構成比率(連結・前年同期比)



当四半期の前年同期比 +10.4% (45社増)

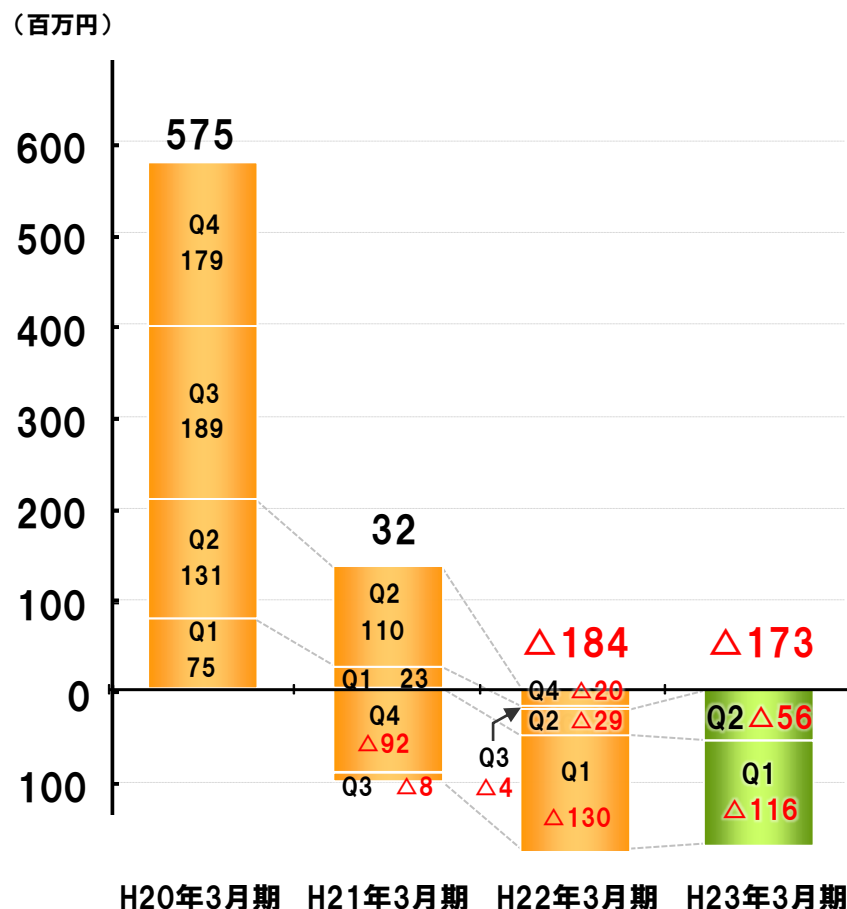


売上原価、販管費の推移(連結)

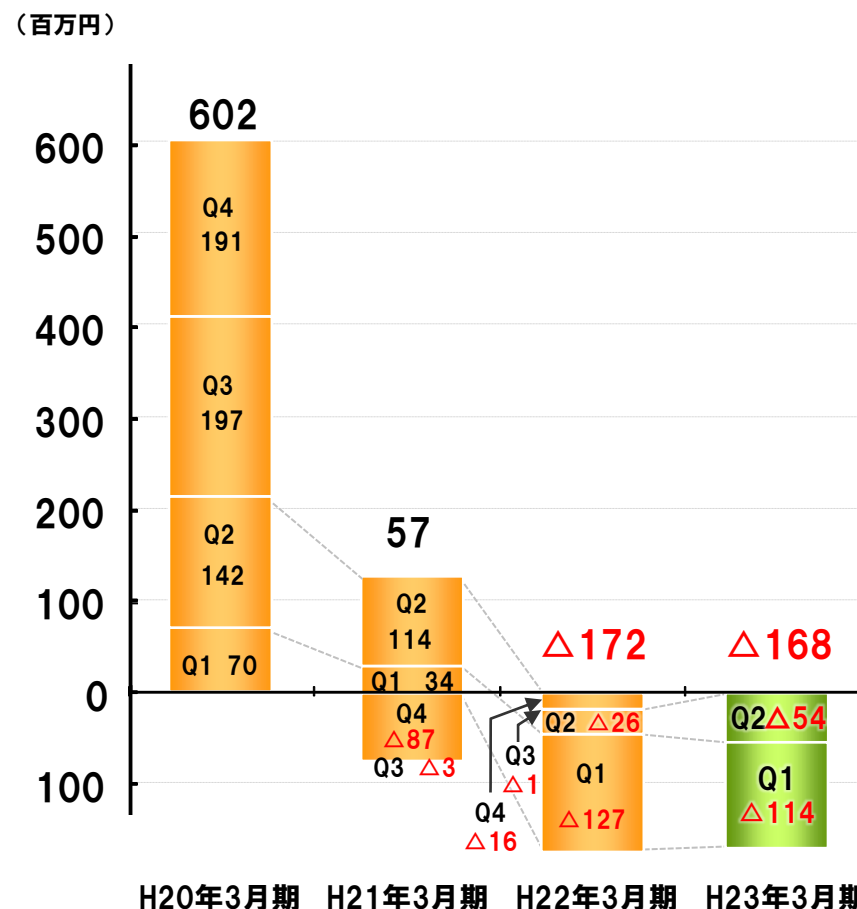


営業利益・経常利益の推移(連結)

第2四半期 営業利益 **△56百万円**
前年同期比 **△27百万円**



第2四半期 経常利益 **△54百万円**
前年同期比 **△28百万円**

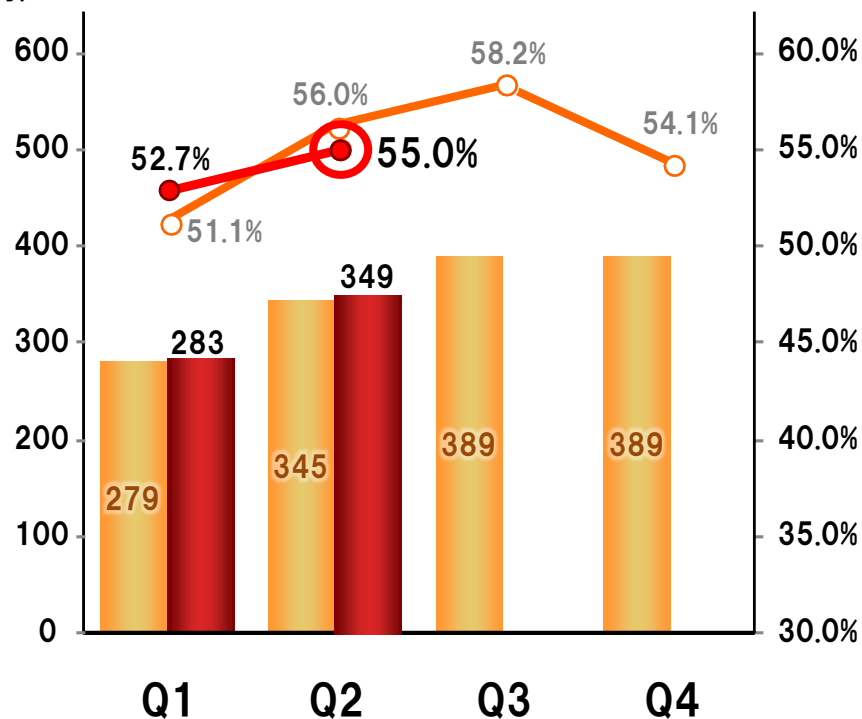


売上総利益・営業利益の推移(連結)

売上総利益・売上総利益率の推移

- 前年同期売上総利益
- 四半期(当期) 売上総利益
- 前年同期 売上総利益率
- 四半期(当期)売上総利益率

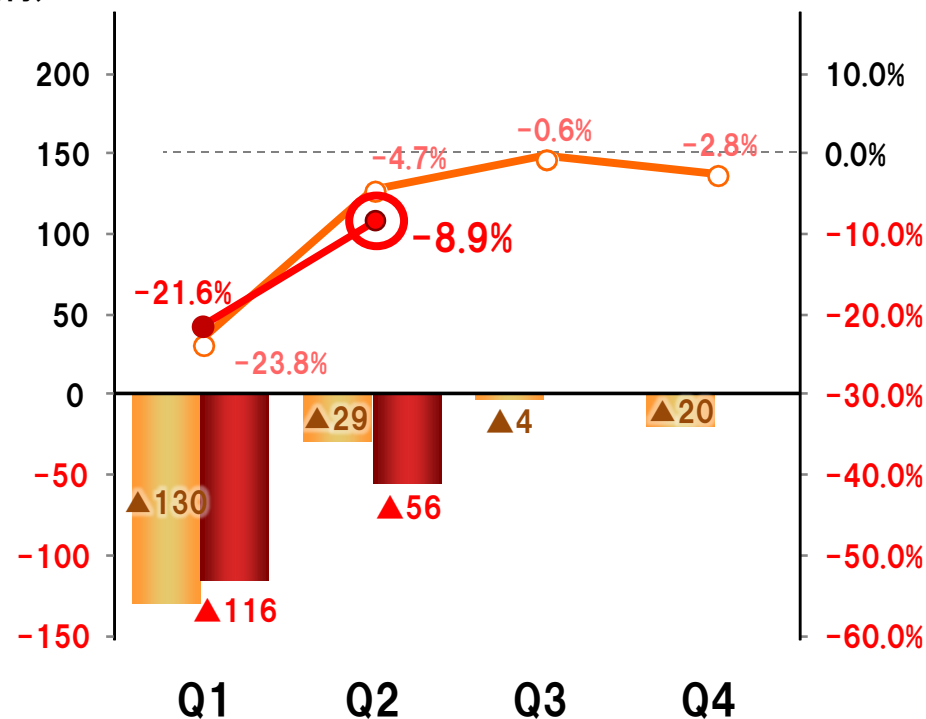
(百万円)



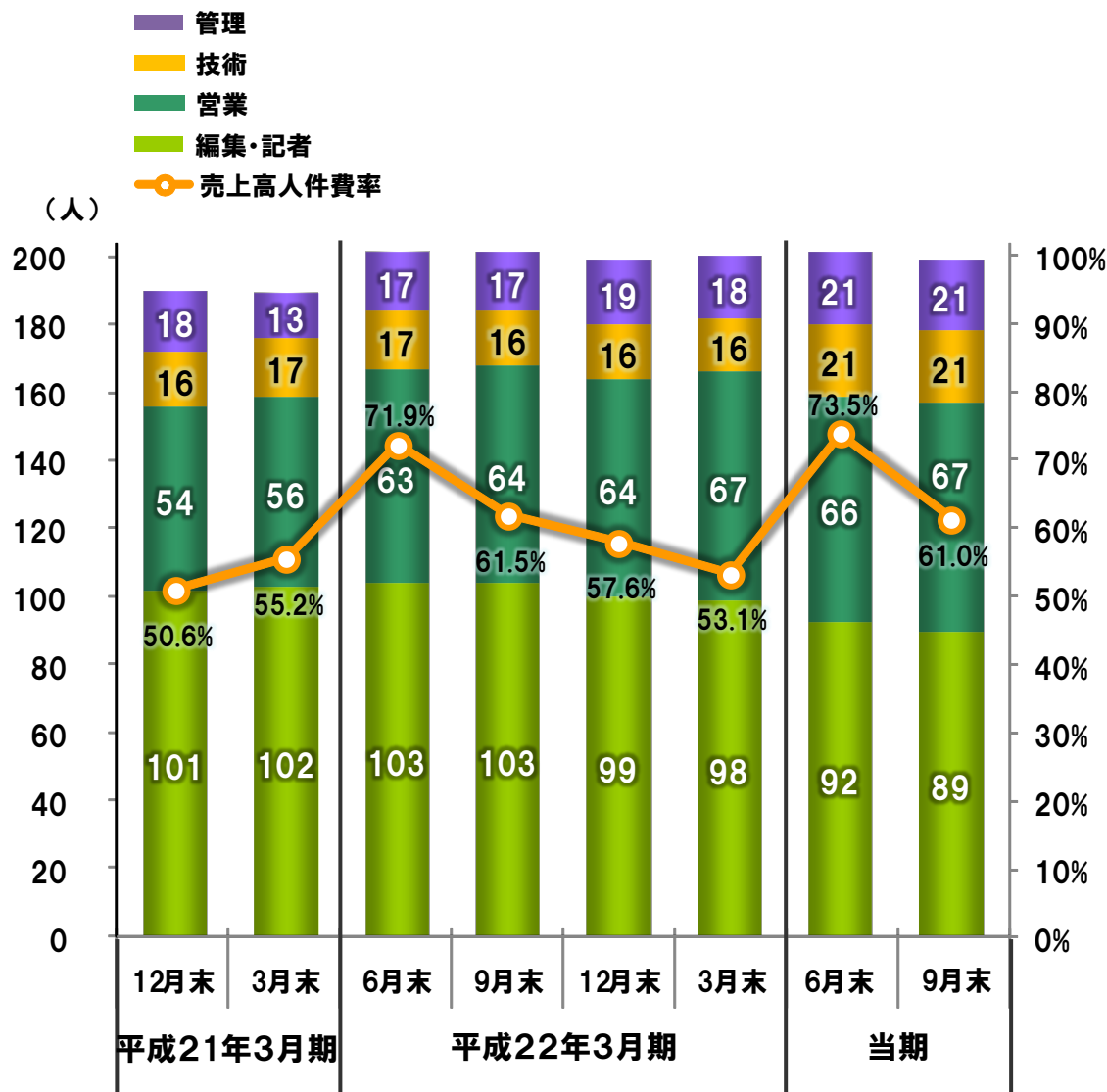
営業利益・営業利益率の推移

- 前年同期営業利益
- 四半期(当期) 営業利益
- 前年同期営業利益率
- 四半期(当期)営業利益率

(百万円)

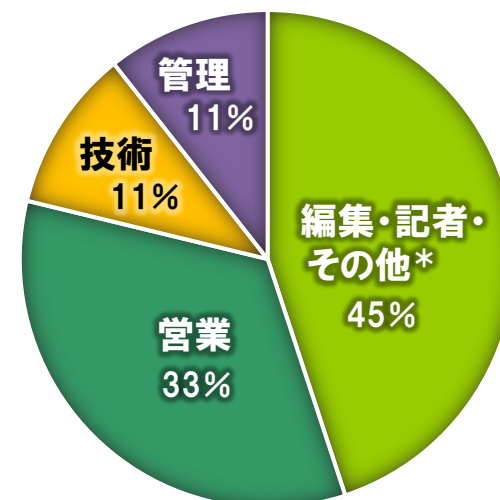


従業員数の推移(連結)



	人数	構成比	前年同期比増減率
編集・記者・その他*	89	45%	-14%
営業	67	33%	+5%
技術	21	11%	+31%
管理	21	11%	+24%
合計	198	100%	±1.0%

*デザイン、マーケティング要員を含みます。



注: 売上高総人件費率 = $\frac{【販管費】人件費 + 【原価】労務費}{売上高} \times 100$

要約: キャッシュ・フロー計算書(連結)

(百万円)

H23年3月期

当第2四半期連結累計期間
(自 平成22年4月1日
至 平成22年9月30日)

前第2四半期連結累計期間
(自 平成21年4月1日
至 平成21年9月30日)

Q1
(4-6月)

Q2
(7-9月)

営業活動によるキャッシュ・フロー

△27

△53

△30

3

投資活動によるキャッシュ・フロー

70

△395

79

△8

財務活動によるキャッシュ・フロー

9

△0

△0

9

現金及び現金同等物の増減額

+51

△449

+47

+3

現金及び現金同等物の期首残高

1,458

1,877

1,458

1,506

現金及び現金同等物の期末残高

1,510

1,427

1,506

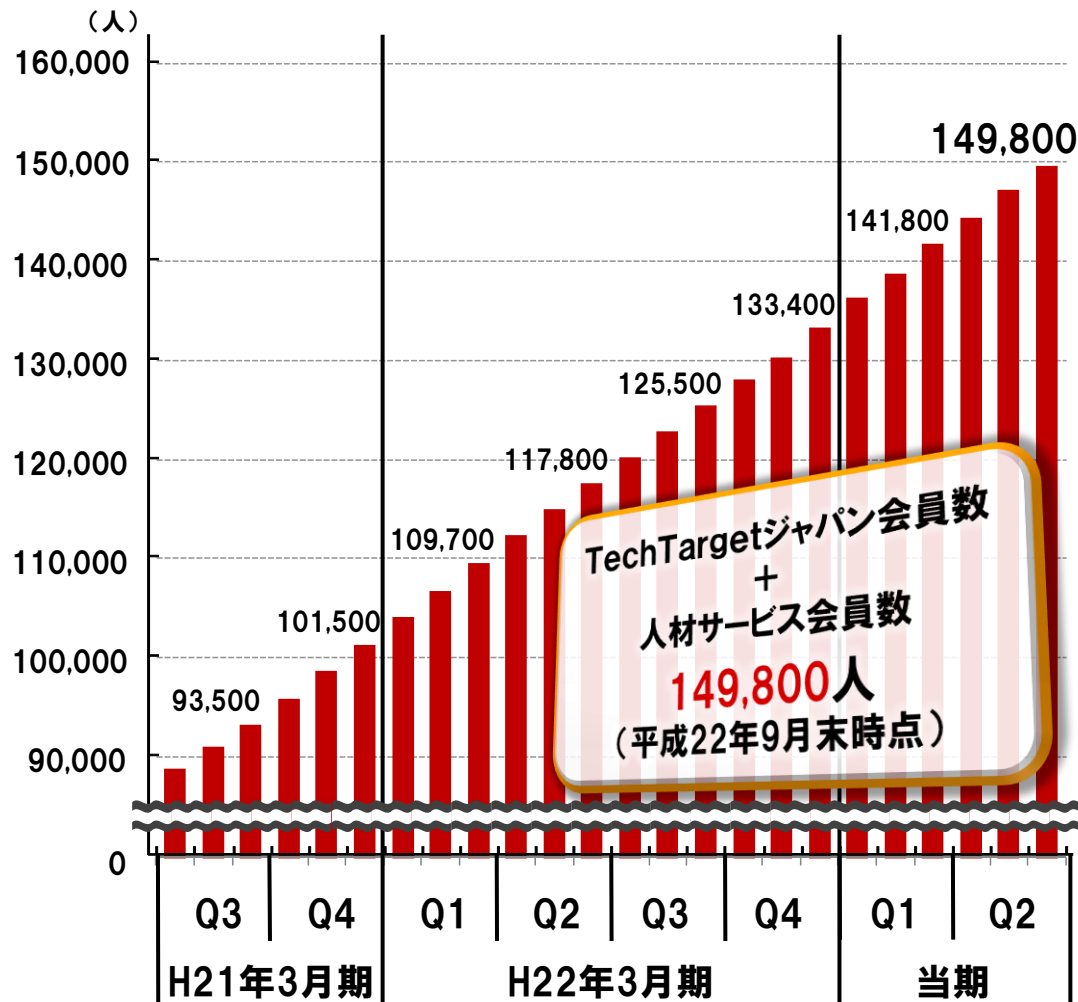
1,510

要約:貸借対照表(連結)

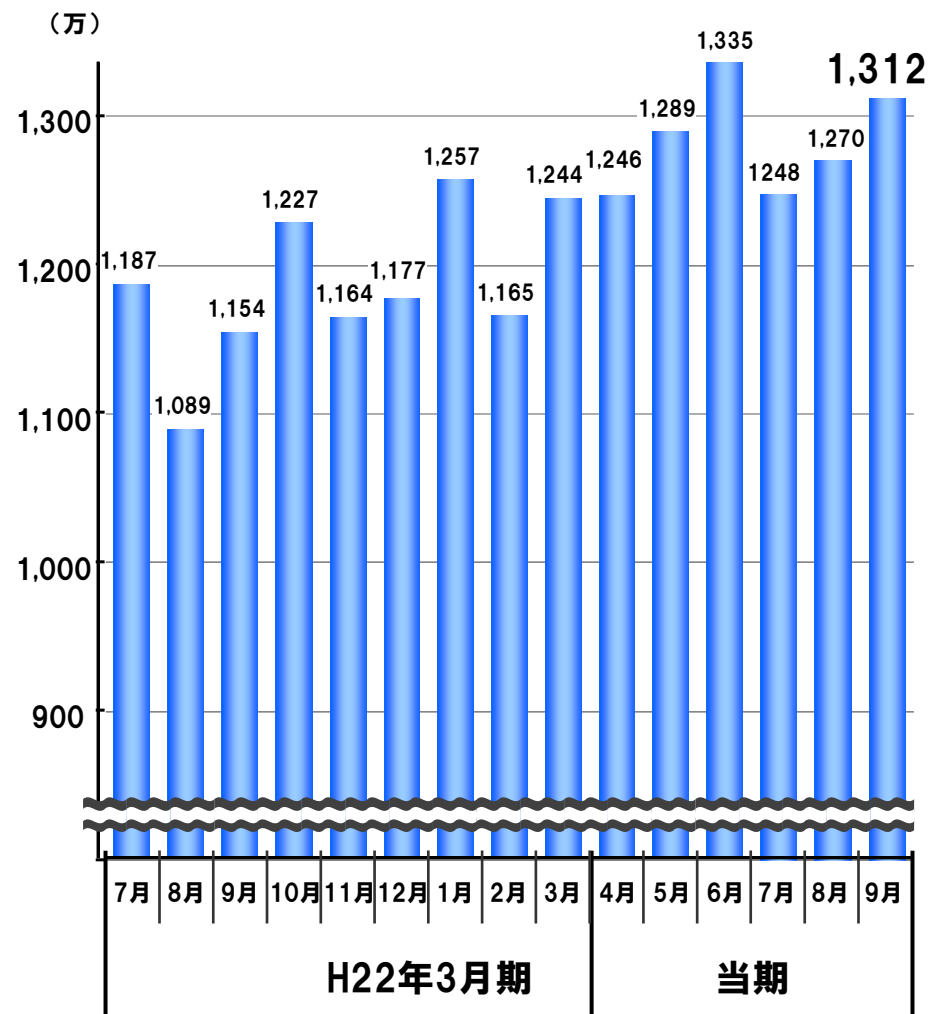
(百万円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)	増減額
流動資産合計	2,333	2,610	-277
現金及び預金	1,210	1,158	51
受取手形及び売掛金	410	494	-83
有価証券	600	799	-199
固定資産合計	1,490	1,340	150
有形固定資産	130	122	7
無形固定資産	228	229	-1
投資その他の資産合計	1,132	988	144
資産合計	3,824	3,951	-126
流動負債合計	310	302	7
未払法人税等	7	9	-1
賞与引当金	99	106	-7
負債合計	344	306	37
資本金	1,620	1,620	0
資本剰余金	1,664	1,664	0
利益剰余金	216	396	-179
自己株式	-44	-44	0
株主資本合計	3,457	3,636	-179
その他有価証券評価差額金	-0	0	-0
新株予約権	15	7	7
純資産合計	3,480	3,644	-164
負債純資産合計	3,824	3,951	-126

会員数の推移



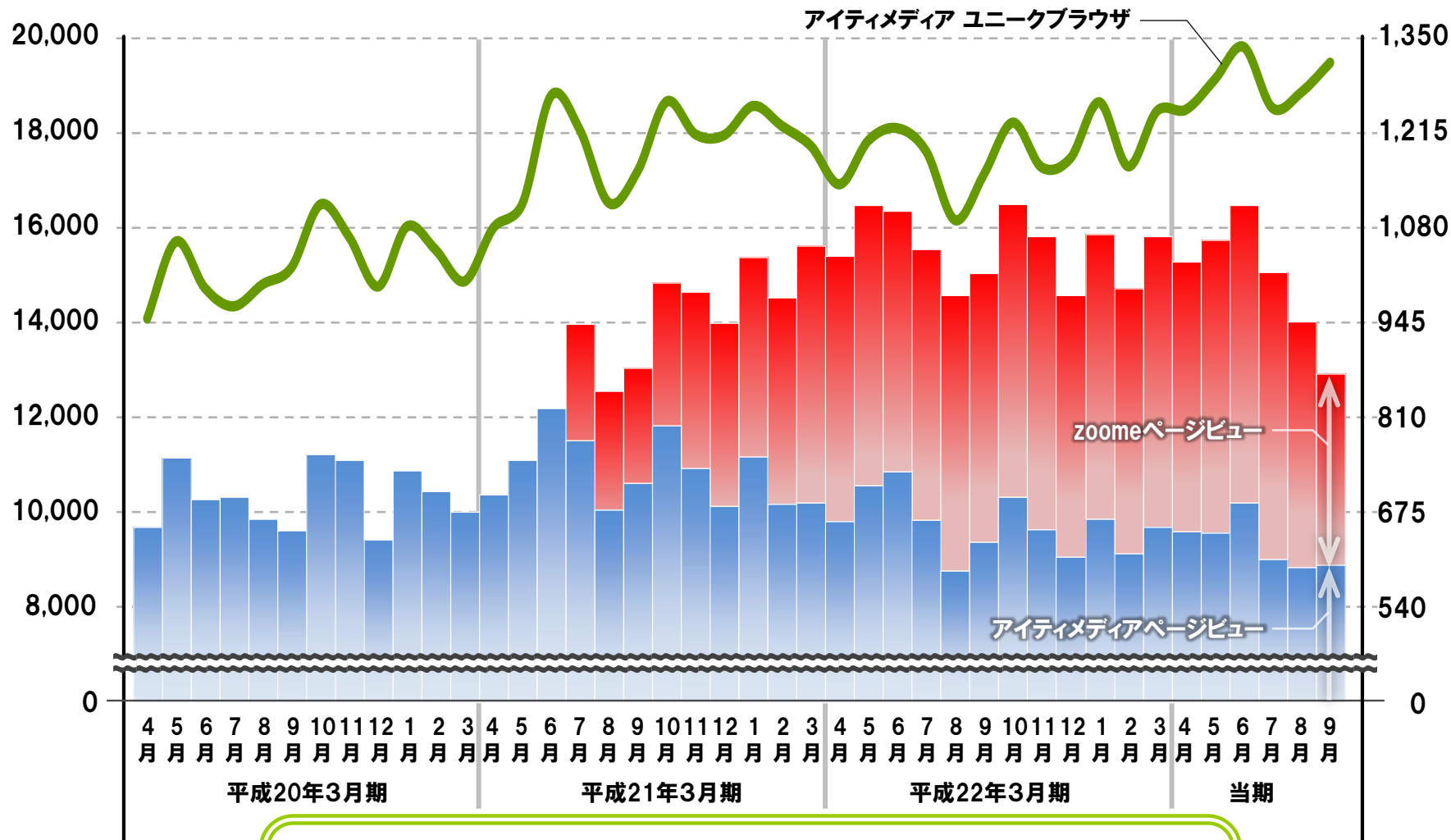
ユニークブラウザ数の推移



当社グループの運営するメディアの規模(連結)

(万ページビュー)

(万ユニークブラウザ)



アイティメディア 8,875万/月 ページビュー(平成22年9月実績)

zoom 4,043万/月 ページビュー(同上)

※数値は参考値です。アイティメディアと、zoomのページビュー測定方法は異なります。



ITmedia Inc.

分野別業績概要と取り組み

平成 22 年 10 月 27 日

アイティメディア株式会社

証券コード: 2148 東証マザーズ

Copyright © 2010 ITmedia Inc.

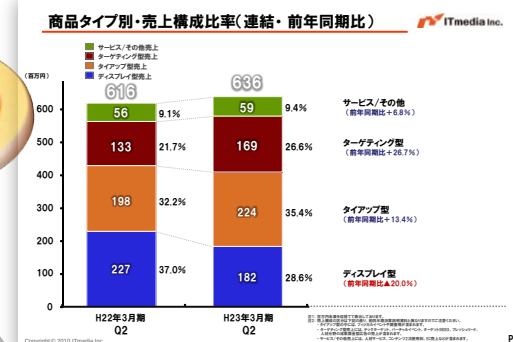
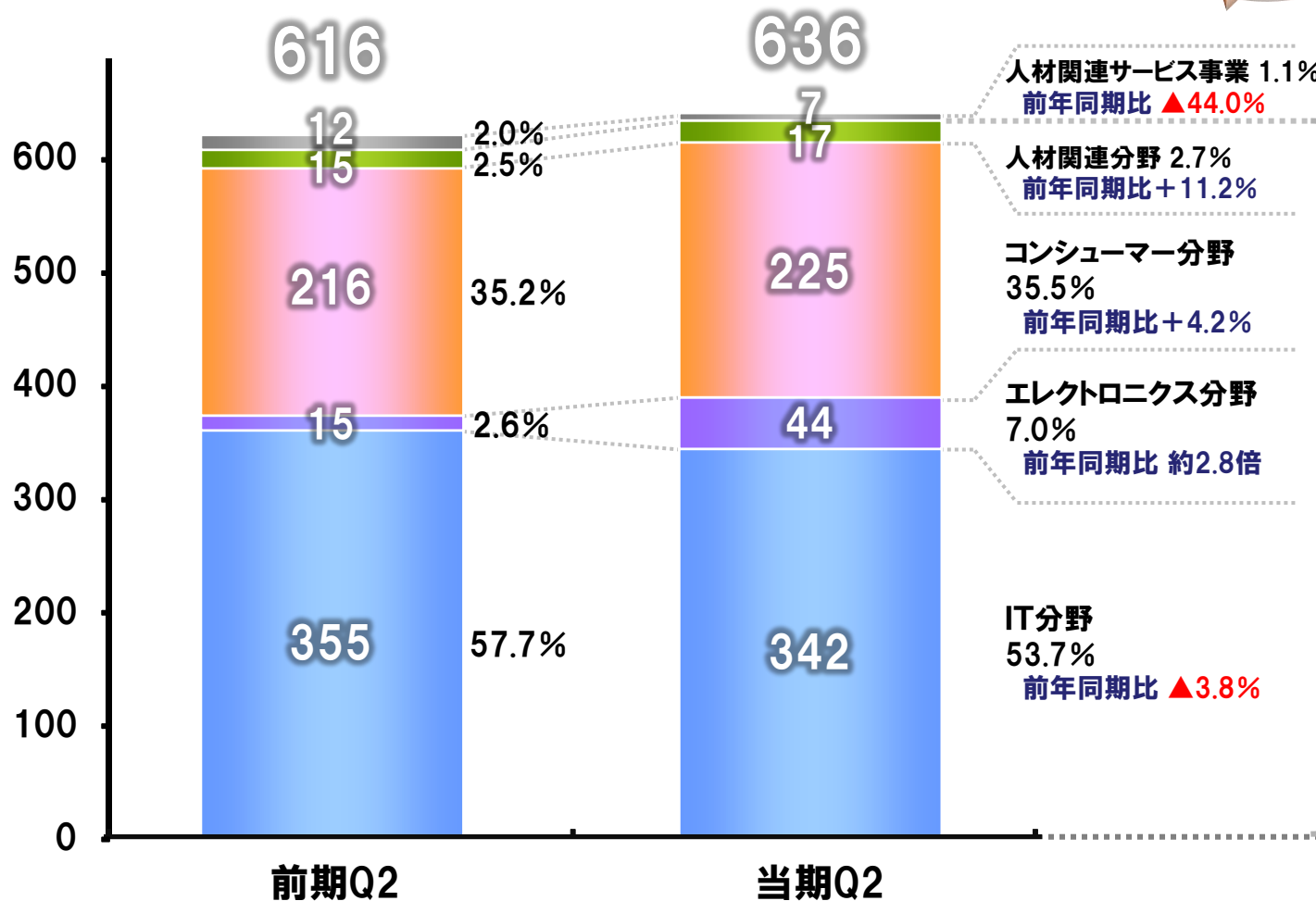
セグメントおよびメディア分野表

セグメント	メディア分野	主要なメディアおよびサービス
メディア事業	IT分野	技術者向け専門情報メディア
		情報システム部門向け専門情報メディア
		経営層向けコミュニティメディア
		会員向け購買支援情報メディア
	エレクトロニクス分野	エンジニア向け専門情報メディア
		環境ビジネス情報メディア
	コンシューマー分野	ビジネスパーソン向けニュース情報メディア
		デジタル関連機器製品情報メディア
		音楽情報メディア
		動画投稿コミュニティメディア
		CGM(コンシューマー・ジェネレイテッド・メディア)
	人材関連分野	IT業界でのキャリアアップ及び転職支援及び就職情報メディア
人材関連サービス事業	—	会員向け転職支援サービス

分野別・売上構成比率(連結・前年同期比)

- 人材関連サービス事業
- メディア事業・人材関連分野
- メディア事業・コンシューマー分野
- メディア事業・エレクトロニクス分野
- メディア事業・IT分野

(百万円)



メディア事業 98.9%
前年同期比 +4.3%

◇ 平成23年3月期 第2四半期の事業動向

- ・ 前年同四半期比 減収減益するも、黒字確保
 - Q1は営業損失▲21百万円だったが、Q2では黒字化
 - 高利益率のディスプレイ型売上が減少し利益率が低下
 - 広告主数が減少する一方、バーチャルイベントなど高単価案件による顧客単価向上
- ・ ターゲティング型売上は拡大
 - 前年同期(Q2のみ)比で 27.5%の売上増加
- ・ 日本最大級のバーチャルイベントを開催
 - 出展社数36社(メディア協賛を含む)
 - 来場者数4,434名



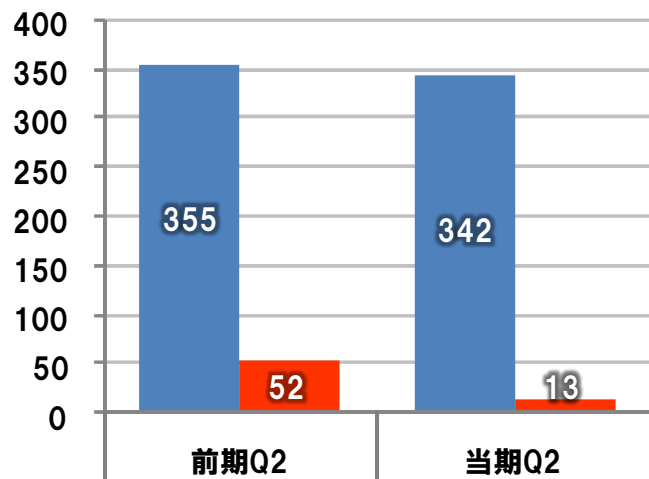
◇ 平成23年3月期 第3四半期以降の施策

- ・ IT分野顧客の広告宣伝活動は依然低調と予想
 - 企業のIT投資への慎重姿勢が継続
 - その結果、IT分野顧客の広告宣伝は引き続き低調と予想
- ・ 利益確保を重視して事業を運営
 - メディア運営の効率化を推進
- ・ 商品力・営業力の強化
 - 中小顧客開拓のための営業力強化
 - アイティメディアIDを用いた新ターゲティング型商品の投入

H23/3期 第2四半期業績

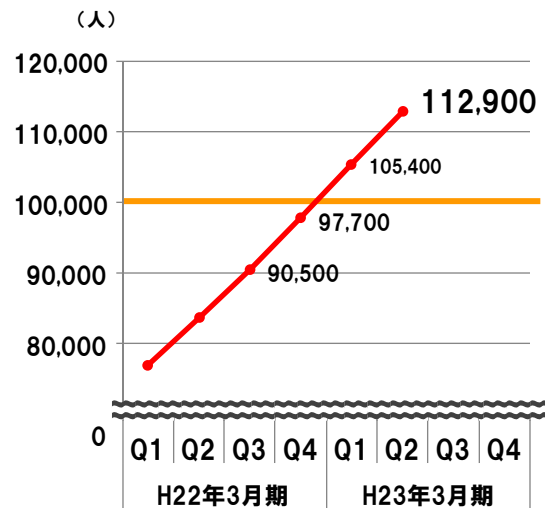
(百万円)

■ 売上 ■ 営業利益

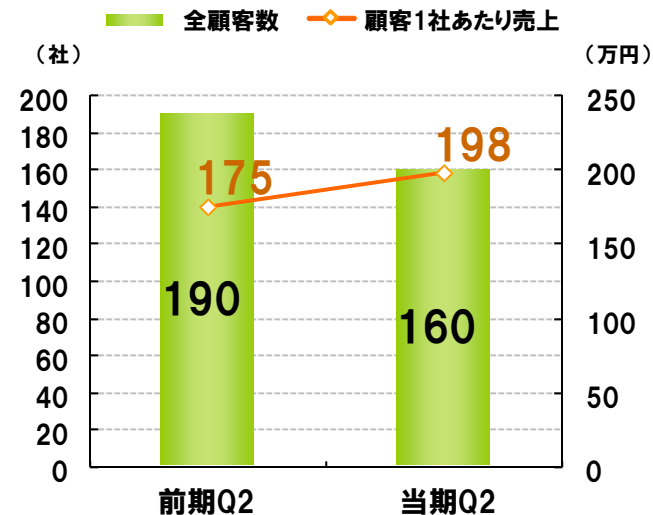


TechTargetジャパン会員数の推移

前Q比 7,500増(+7.1%)



広告主数の推移



注1: 会員数は四半期末時点の累計数
注2: 売上高・営業利益は百万円未満を切捨てて表示しております。

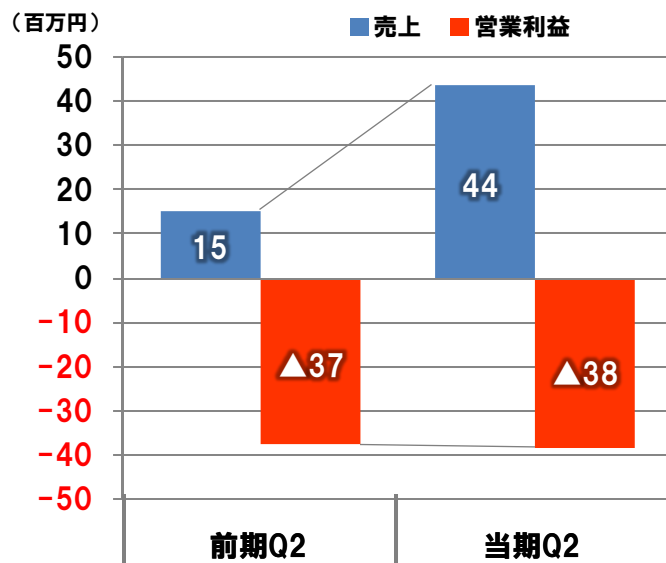
◇ 平成23年3月期 第2四半期の事業動向

- ・ 前年同四半期比 約3倍の増収
 - 顧客マーケットの急拡大
 - 顧客数が前年同期比1.8倍。顧客単価も上昇
- ・ 提供メディア・商品の拡大
 - 前期Q4に 統合した「EE Times Japan」と「@IT MONOist」の相乗効果
 - ターゲティング型とタイアップ型商品の売上好調
 - バーチャルイベントを7社から受注
- ・ 成長分野と位置づけ、売上重視
 - コストを投入し、売上成長重視の投資フェイズ

◇ 平成23年3月期 第3四半期以降の施策

- ・ 売上拡大により利益改善を加速
 - ターゲティング型商品売上を拡大
 - 新規顧客(製造業IT)の開拓を推進
- ・ 会員獲得施策の強化
 - 既存会員制度をアイティメディアIDに移行
 - 電子ブックレットによる会員獲得促進
- ・ 商品およびメディアの拡大
 - ホワイトペーパー(技術文書)の掲載を開始
 - 特集型Webcastの年間展開を開始

H23/3期 第2四半期業績

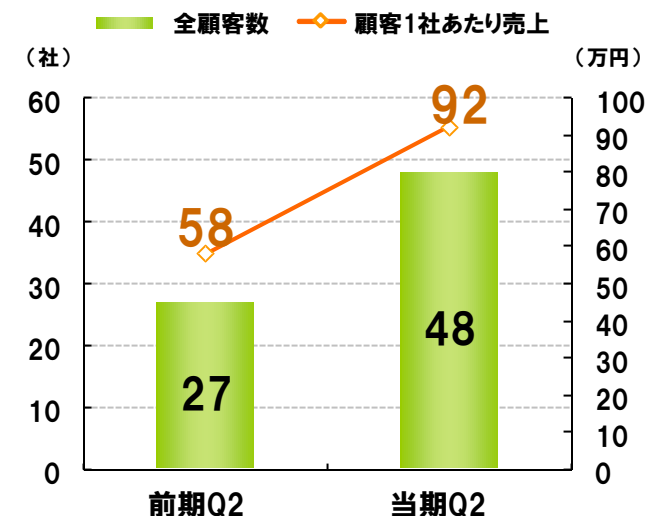


エレクトロニクス分野合計会員数:5.2万人

内、電子版 EETIMES Japan
(毎月第2水曜日配信) 会員数:4.3万人



広告主数の推移



注1: 会員数は四半期末時点の累計数
注2: 売上高・営業利益は百万円未満を切捨てて表示しております。

◇ 平成23年3月期 第2四半期の事業動向

- ・ 前年同四半期比で増収するも減益
 - ターゲティング型商品の売上拡大
 - 投資フェイズにあるソーシャル型商品により原価が増加
- ・ 新商品が業績に貢献
 - 「Ustream」を活用したプロモーション商品受注
 - 「iPhone」向けアプリでタイアップ型商品受注
 - 「ターゲットINDEX」の顧客分野拡大
- ・ メディア力強化
 - (株)ドワンゴ、(株)ニワンゴと協力し、「ライブガイド」を開設
 - (株)オウケイウェイヴと協力し、「質問！ITmedia」を開設



◇ 平成23年3月期 第3四半期以降の施策

- ・ 売上の継続拡大
 - 「iPhone」向けアプリの売上拡大
 - ソーシャル型商品の業績貢献
 - 動画関連商品のメニュー化と拡販
- ・ スマートデバイス対応の強化
 - 「iPhone」向けアプリ「歌手☆コレ」リリース
 - 「Android」向けアプリのリリース予定
- ・ メディア力の強化
 - 「eBook USER」に編集人員投入、メディア拡大
 - ソーシャル・メディアとの連携強化によるメディアの影響力拡大

H23/3期 第2四半期業績

(百万円)

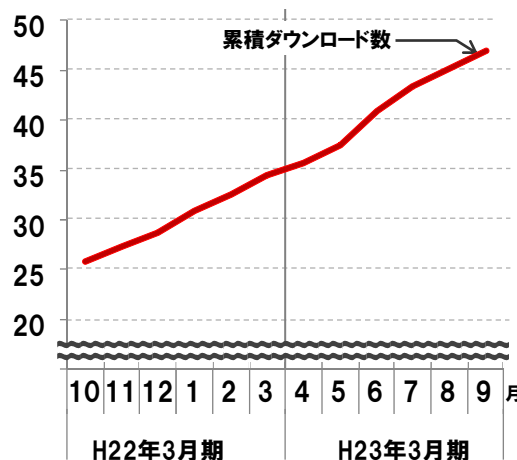
■ 売上 ■ 営業利益



「iPhone」「iPad」向けアプリケーション
累積ダウンロード数の推移

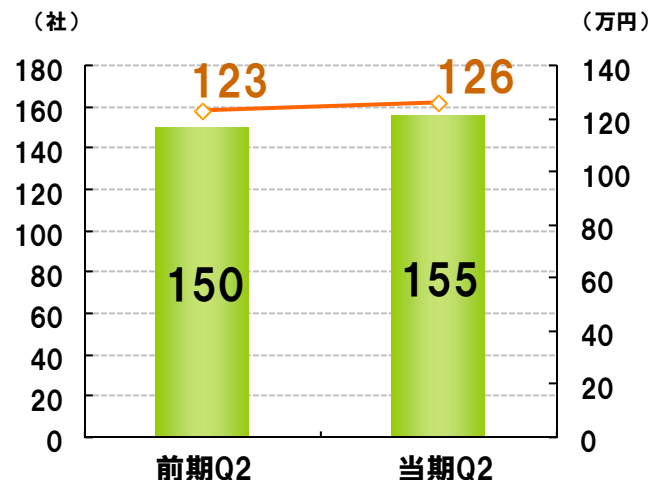
前Q比 60,500増(+8.0%)

(万・ダウンロード)



広告主数の推移

■ 全顧客数 ◇ 顧客1社あたり売上



注1: ダウンロード数は四半期末時点の累計数

注2: 売上高・営業利益は百万円未満を切捨てて表示しております。

◇ 平成23年3月期 第2四半期の事業動向

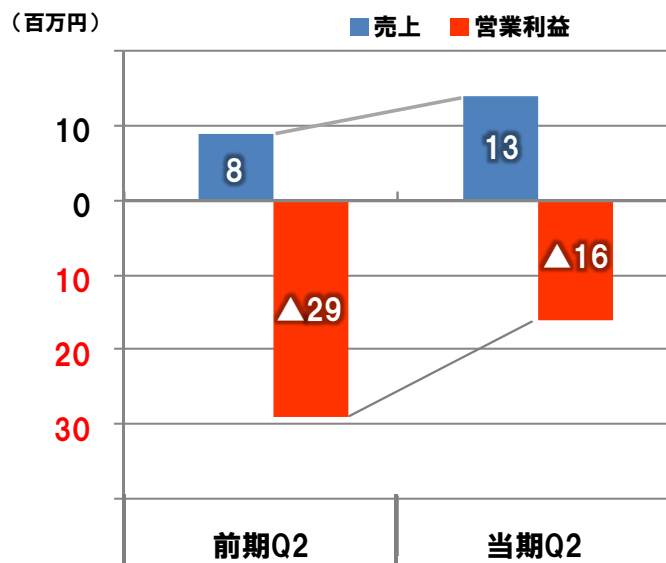
- ・ 前年同四半期比 増収・赤字幅の縮小
 - 動画広告が引き続き好調
 - バーチャルイベントの映像制作売上が貢献
- ・ (株)オウケイウェイヴと業務提携契約締結
 - 動画コンテンツを用いた新規事業を準備



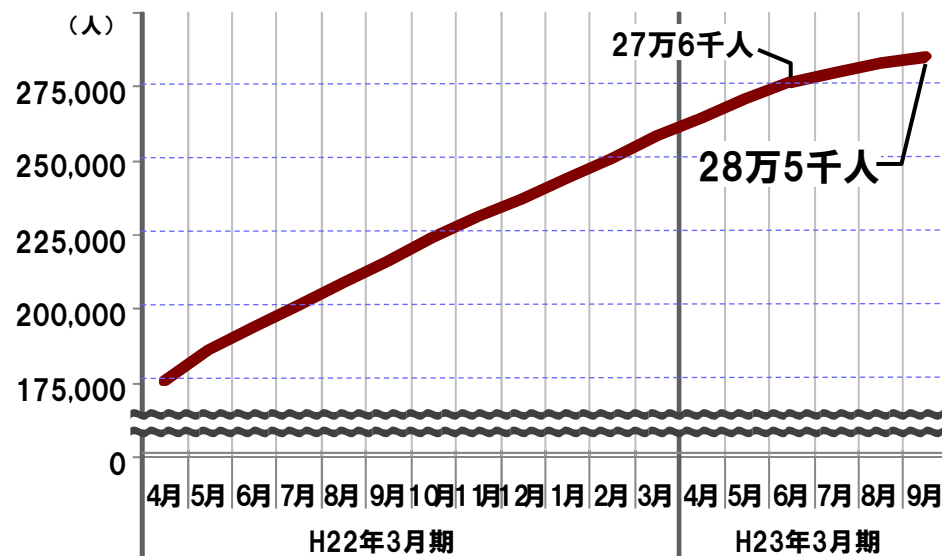
◇ 平成23年3月期 第3四半期以降の施策

- ・ 売上の拡大と赤字幅のさらなる縮小
 - 動画広告売上の伸長、有料会員の増加による売上拡大
 - インフラコストの抑制継続
- ・ (株)オウケイウェイヴとの協業推進
 - Q4を目処として収益化する予定

H23/3期 第2四半期業績



zoome 累計会員アカウント数推移



注1: 会員数は四半期末時点の累計数
 注2: 売上高・営業利益は百万円未満を切捨てて表示しております。

人材関連分野＋人材関連サービス事業

◇ 平成23年3月期 第2四半期の事業動向

- ・ 前年同四半期比 減収・赤字幅の縮小
 - － ローコスト運営により、営業損失は改善傾向
 - － メディア事業は売上一部回復、サービス売上は依然低調
- ・ IT関連技術者の中途採用ニーズが一部回復
 - － Webサービス関連技術者のニーズは急回復
 - － システム開発関連技術者のニーズは依然低調

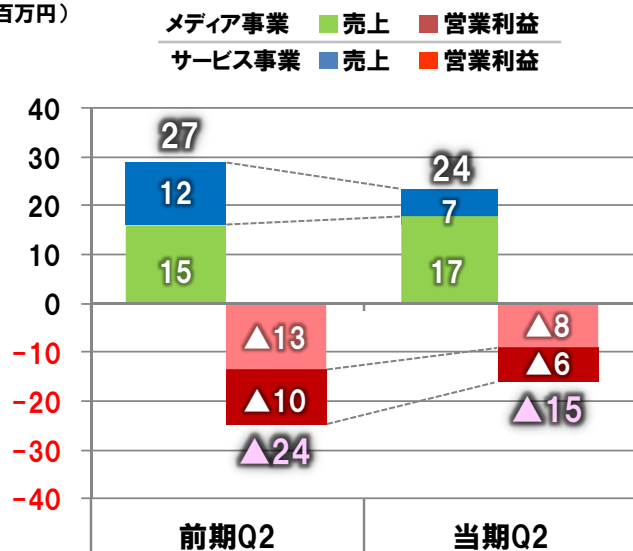


◇ 平成23年3月期 第3四半期以降の施策

- ・ さらなる赤字幅の縮小
 - － 技術者の中途採用ニーズに対応し、メディア事業では一部回復見込み
- ・ 収益改善に向けた施策実施
 - － IT関連技術者向けメディア運営に集中
 - － ローコストオペレーションを継続

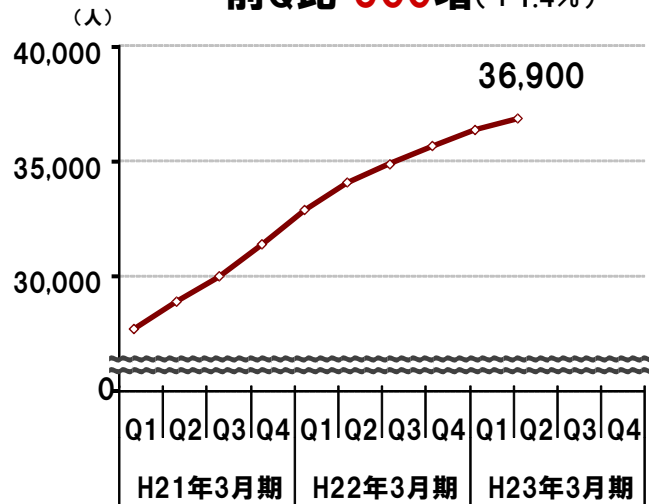
H23/3期 第2四半期業績

(百万円)

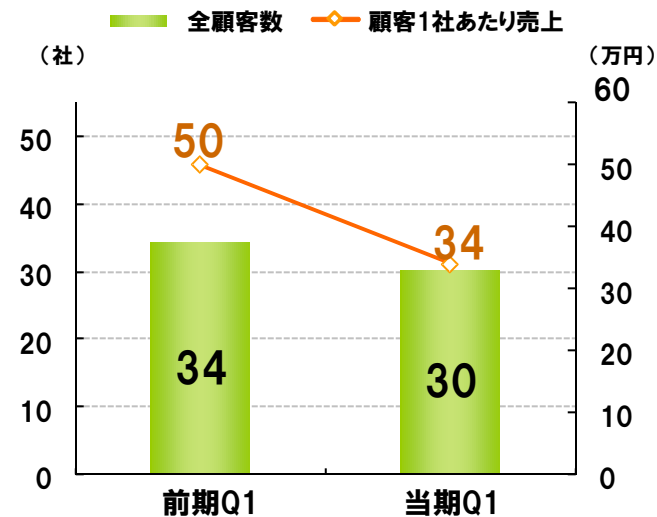


人材サービス会員数の推移

前Q比 500増(+1.4%)



広告主数の推移



注1: 会員数は四半期末時点の累計数
注2: 売上高・営業利益は百万円未満を切捨てて表示しております。



ITmedia Inc.

平成23年3月期 業績予想および経営目標

平成 22 年 10 月 27 日

アイティメディア株式会社

証券コード: 2148 東証マザーズ

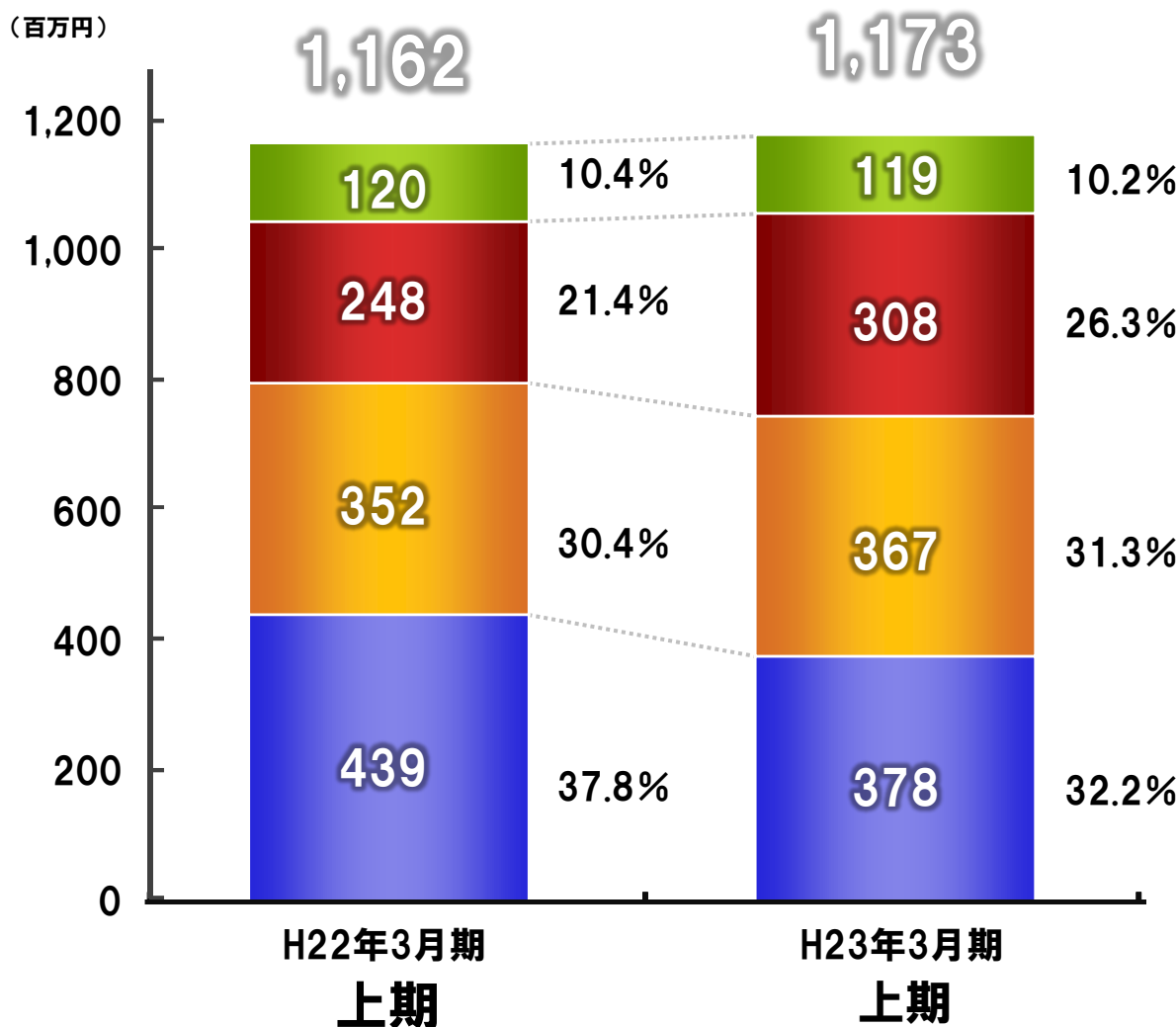
期初の上期予想と現況の認識、今後の方針について

	期初の予想	上期の現況	今後の方針
市場環境	厳しい市場環境は続くものの、 景気の底を前期Q1と予想	IT分野では、一部の大手顧客が 前期以上に広告宣伝費を抑制 する傾向が強まった	IT分野の広告需要は当面低調に推移する前提で、慎重に検討し、 保守的に予測
売上	前期は四半期ごとに対前期売上比が回復しており、その推移から、 上期売上を前年同期比111%と予想	全社では売上前年同期比 101%で前年同水準 ディスプレイ型売上が前年同期から13.9%減少、 分野別ではIT分野が8.6%減少した	IT分野の売上成長を当面見込まず、 通期売上で前年同期比約4%増に下方修正
コスト	前年度に実施した大幅コスト削減を継続する一方、当期は 11%の売上成長を見込んだコスト計画	コストは、ほぼ計画通りに推移	さらなるコスト削減を進めるため、 固定費の削減に着手 ただし、固定費の削減効果は来期に顕在化すると見込む
損益	利益率の高いディスプレイ型売上が下げ止まる 一方で、ターゲティング型売上の拡大により、全社では黒字化すると予想	ターゲティング型売上は計画どおりに拡大したものの、 ディスプレイ型売上が予想以上に減少し、利益率が低下	利益率の高いディスプレイ型売上が当面回復しない場合でも保守的に 損益分岐点を下げ、早期の黒字化を目指す

上期累計：商品タイプ別・売上構成比率(連結・前年同期比)

- サービス/その他売上
- ターゲティング型売上
- タイアップ型売上
- ディスプレイ型売上

(百万円)



サービス/その他
(前年同期比▲1.2%)

ターゲティング型
(前年同期比+23.9%)

タイアップ型
(前年同期比+4.0%)

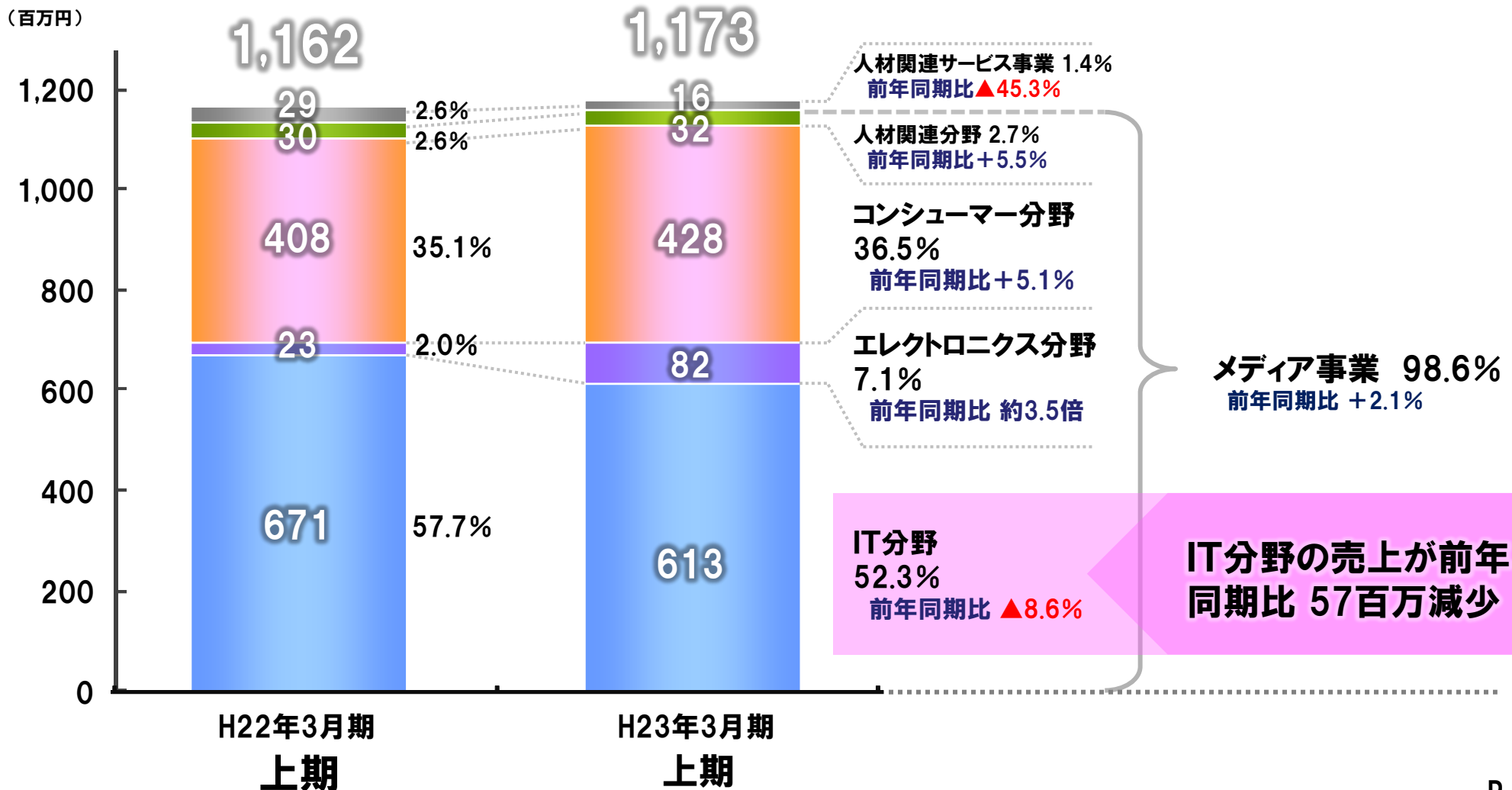
ディスプレイ型
(前年同期比▲13.9%)

計画通り拡大
前年同期比
60百万増加

**前年同期から
61百万減少**

上期累計:分野別売上構成比率(連結・前年同期比)

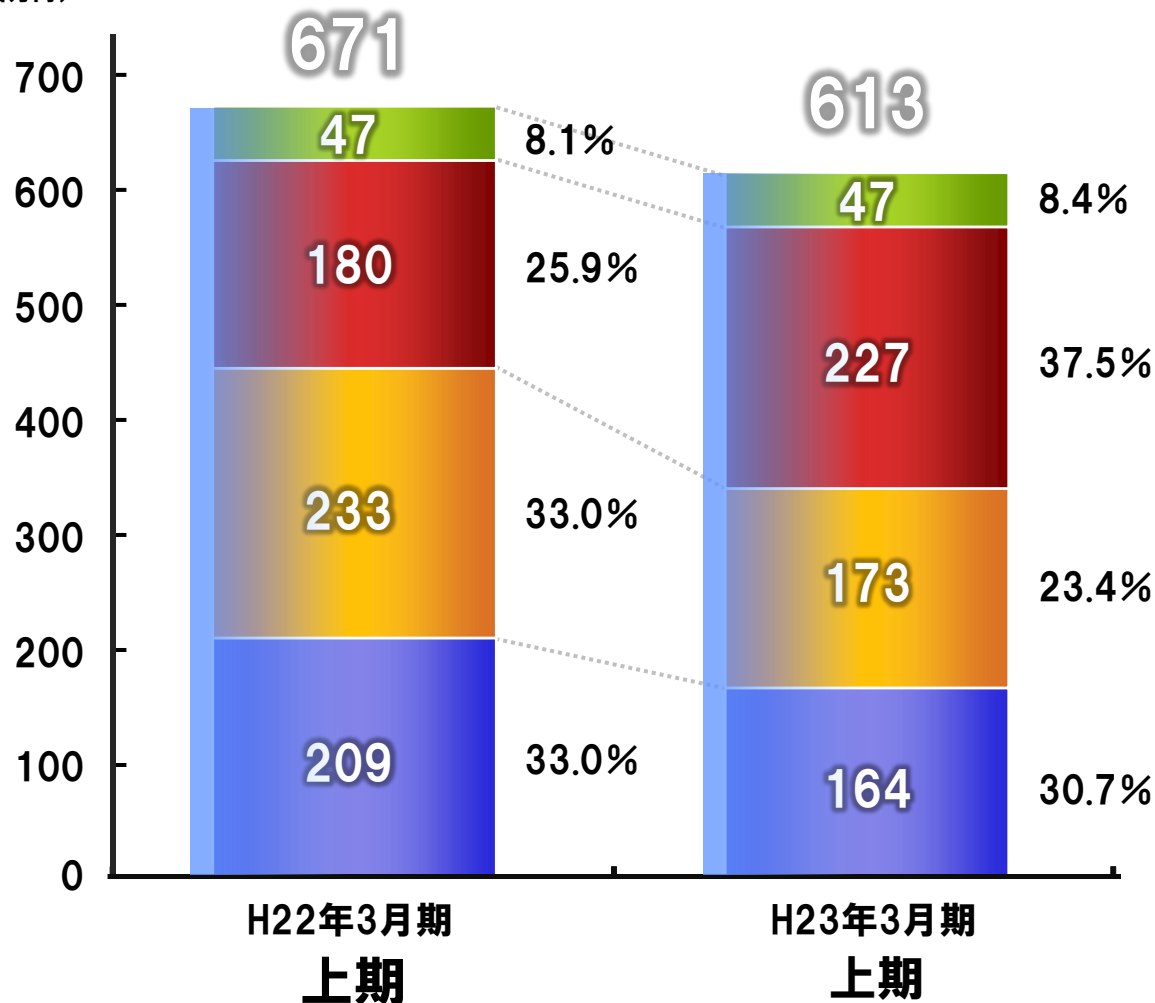
- 人材関連サービス事業
- メディア事業・人材関連分野
- メディア事業・コンシューマー分野
- メディア事業・エレクトロニクス分野
- メディア事業・IT分野



上期累計:IT分野の商品別売上構成比率(前年同期比)

- IT分野のサービス/その他売上
- IT分野のターゲティング型売上
- IT分野のタイアップ型売上
- IT分野のディスプレイ型売上

(百万円)



サービス/その他
(前年同期比+0.3%)

ターゲティング型
(前年同期比+26.1%)

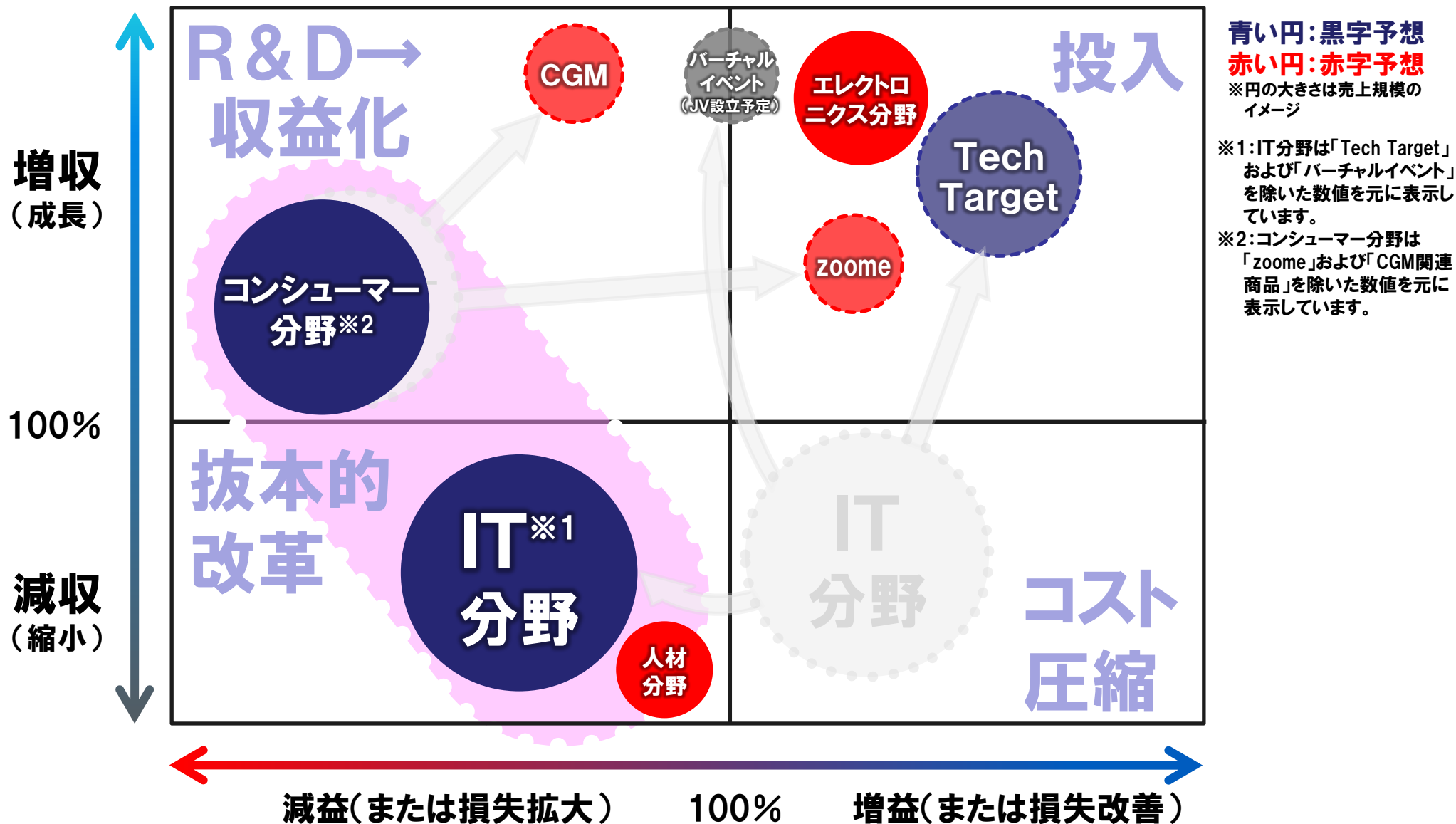
計画通り拡大
前年同期比
47百万増加

タイアップ型
(前年同期比▲25.8%)

ディスプレイ型
(前年同期比▲21.3%)

両タイプの
合計売上が
前年同期比
104百万減少

分野別の今後の方針





現状に則し当期の経営目標を変更

期初に目指した経営目標

- 連結営業黒字
- 売上拡大 成長路線の回復
- 新しいメディアビジネスへの挑戦

期初の業績予想に関するポイント

- ① ターゲティング型商品の増収
- ② 引続きコストコントロールを継続
- ③ zoomerの赤字幅の縮小



上期の業績を踏まえ経営目標を修正

- 来期に確実な連結営業黒字化
- 保守的な売上予測を堅実に達成
- 黒字水準へ向け固定費を削減

現在の業績予想に関するポイント

- ① 商品別の増減収をバランスング
- ② 非IT分野の事業は増収増益
- ③ 固定費の削減効果は来期から

平成23年3月期 業績予想

連結					単位:百万円
	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	
下期	1,471	17	20	21	
前年度下期(前期比増減)	1,388(+82)	▲24(+41)	▲18(+39)	▲57(+78)	
通期	2,644	▲155	▲147	▲158	
前年通期(前期比増減)	2,551(+93)	▲184(+29)	▲172(+24)	▲241(+83)	

- ・ 下期の会計期間において営業黒字化。ただし上期の損失を補えず通期では赤字
- ・ 子会社zoomelは、上期においてほぼ計画通りで、通期業績予想に変更なし

単体					単位:百万円
	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	
下期	1,437	34	37	36	
前年度下期(前期比増減)	1,363(+74)	29(+4)	35(+2)	▲125(+162)	
通期	2,595	▲105	▲97	▲111	
前年通期(前期比増減)	2,512(+82)	▲71(▲34)	▲59(▲38)	▲57(▲54)	

- ・ IT分野で引き続き厳しい市場環境が継続するため、通期売上は前年度同水準と予想
- ・ 下期に事業構造の再構築を実行するも、固定費の削減効果は来期Q1から顕在化すると見込む



ITmedia Inc.

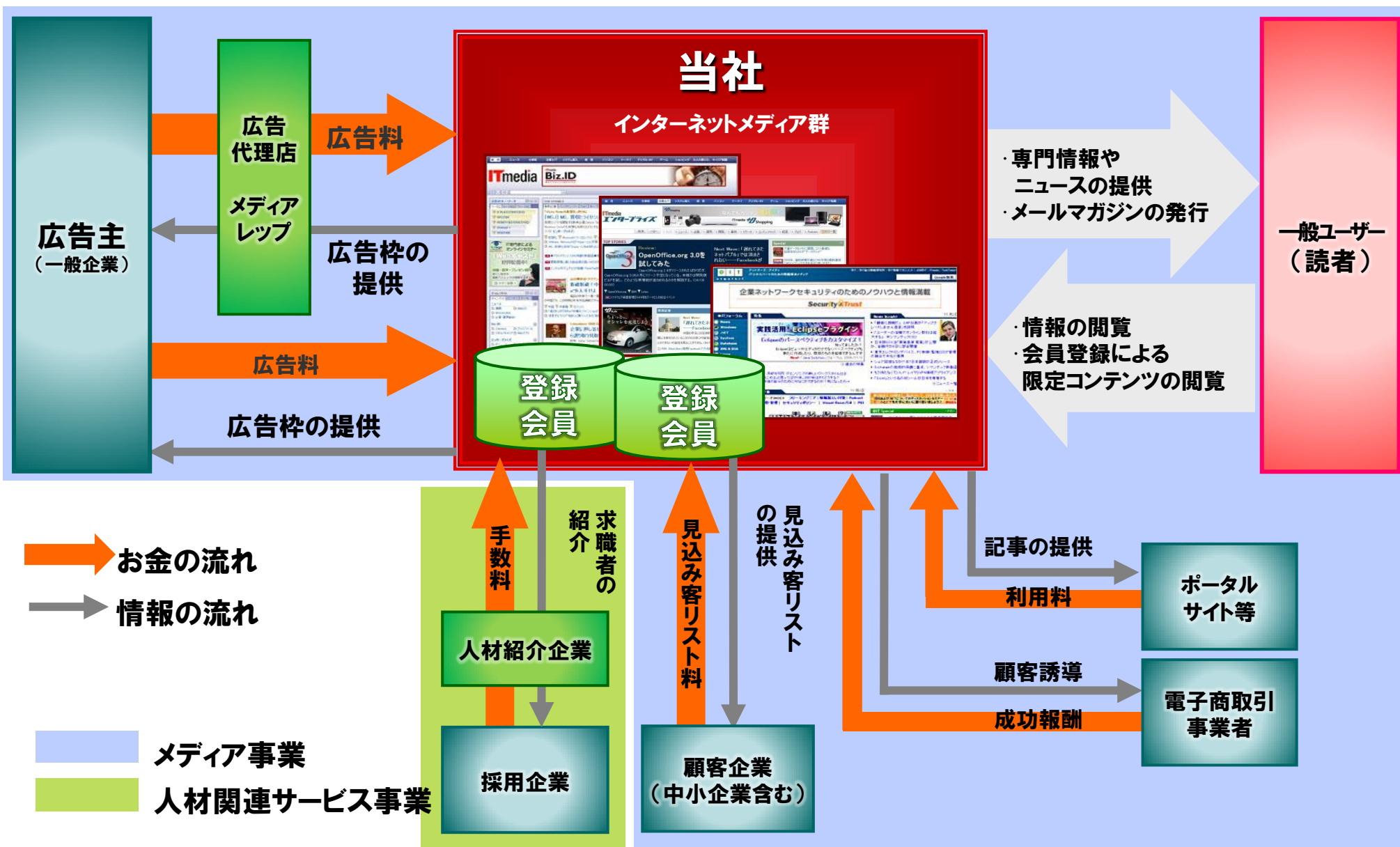
ご参考資料：アイティメディアとは ビジネスモデル及び会社概要

平成22年10月27日

アイティメディア株式会社

証券コード: 2148 東証マザーズ

当社のビジネスモデル



アイティメディアの運営する主なメディアとサービス



設立年月日	1999年12月
資本金	16億20百万円（平成22年9月30日現在）
代表者	代表取締役社長 大槻 利樹
所在地	東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル7F
事業内容	インターネット専業メディアの開発と運営
従業員数	198名（平成22年9月30日現在・連結）
主要株主	ソフトバンク メディア マーケティング ホールディングス（株） ヤフー（株） 他



IT, on the road.



アイティメディア株式会社

東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル7階
TEL.03-6824-9393 FAX.03-3214-1631

証券コード:2148 東証マザーズ